

TS-H101-BM

INPUT 100W MAX.

カーステレオ用埋込型スピーカー 10 cmコアキシャル2ウェイ

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。

尚、車種、年式、グレードによって取付情報を確認する必要がありますので、適合車種の詳細については、販売店様にご相談ください。

- ・本スピーカー取付け後、取外した車両部品を逆の手順で取付けてください。
- ※この取扱説明書は、平成31年1月現在の調査情報に基づいています。車種によっては、それ以降に車両の追加や変更が行われる場合があります。その際、取付けの仕方が変わっている場合があります。
- ※本取付例は、運転席側を元にして説明しています。助手席側は、運転席側を参考にしてください。
- ※ドアや後席側面などは、雨水が回りこむことがあるため、必ず付属のバックンを取扱説明書にしたがって取付けてください。ウーファー部は耐水仕様となっておりますが、車種によっては、別途防水対策の必要な場合があります。特に、純正の防水カバーを外す必要があるときなどは、現車に合わせて万全な防水対策を行ってください。
- ※スピーカーを取付ける際、適合上は取付可能であっても、車両の個体差により取付けた商品が車両側に干渉する場合があります。その場合は、別途内張り（グリル部の裏側など）の加工を行ってください。
- ※車種によっては商品の取付け後、内張りなどにビリ音が発生する場合があります。その場合は別途ビリ止め対策を行ってください。
- ※端子が車両に当たらない方向で取付けてください。
- ※ハイレゾ品質での音楽再生をより確かなものとするためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

Res Audio 当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

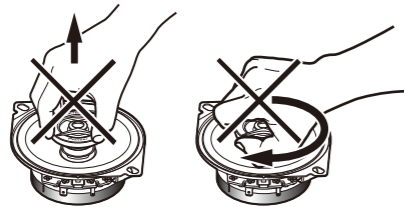
- 配線のご注意とお願い
スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性（+、-）を間違えて配線しますと、低音感の乏しい音になります。

接続方法

注意 接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。

●破損防止のためのご注意とお願い

本スピーカーを取扱う際、ツイーター部を持って回り回転させたりしないでください。破損する恐れがあります。

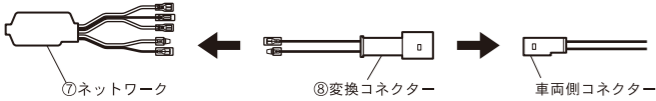


コネクター前加工



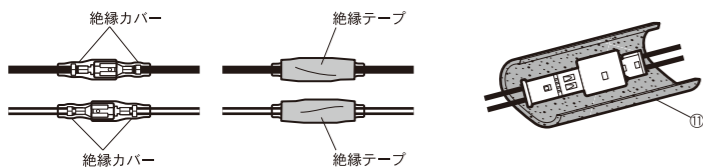
車両側純正のコネクターの凸部を図のように切り取ってください。※切り残しがあるとコネクターへ差し込めなくなる恐れがあります。

インラインネットワーク側へ接続 車両側のコネクターへ接続



注意

接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。

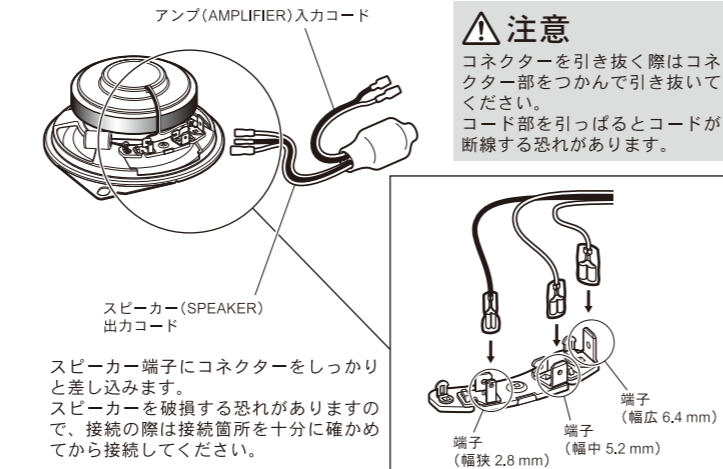


変換コネクターと車両側コネクター接続後、接続部にクッション⑩を巻いてください。

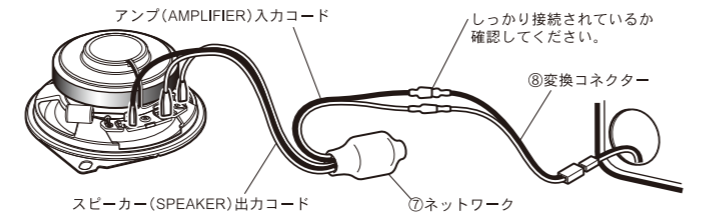
付属品

- ① ブラケット ×2
- ② φ4mm×9mm ×2
- ③ φ5mm×20mm ×2
- ④ 3層構造 吸音・制振 マルチファンクションマット ×2
- ⑤ 遮音バックン ×1
- ⑥ 制振シート ×16
- ⑦ ネットワーク ×2
- ⑧ 変換コネクター ×2
- ⑨ ロックタイ ×4
- ⑩ クッション ×1
- ⑪ クッション (接続アダプター用) ×2
- ⑫ 防振バックン(太) ×1
- ⑬ 防振バックン(細) ×1

注意 コネクターを引き抜く際はコネクター部をつかんで引き抜いてください。コード部を引っぱるとコードが断線する恐れがあります。



ネットワーク⑦のアンプ (AMPLIFIER) 入力コードに変換コネクター⑧を接続し車両側ハーネスに接続します。



●アフターサービスについて

1. 保証書について
ご購入時には保証書にお買い求めの販売店様の捺印、住所、購入年月日が入力されていることをお確かめのうえ、(車検証入れなどに入れて)大切に保管してください。保証書に所定事項が入力されていない場合や紛失したときは保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。カースピーカーの保証期間はお買い上げ後1年間となっております。なお、当社はこのカースピーカーの補修用性能部品を製造引切後、最低6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2. アフターサービスについて
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・お取扱い (取付け・組合せなど) のご相談は、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。お買い求めの販売店様へ修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店様または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理いたします。なお、本製品は持込み商品のための出張修理は承っておりません。引取り修理サービスをご利用ください。(お車から取外していただいた状態での引取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)弊社修理拠点へのお持込みは、商品をお車から取外した状態で承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの着費費用の負担、および脱着作業は承っておりません (保証期間内含む)。販売店様、または取付店様にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

修理受付窓口
 <受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)
 ■電話【固定電話から】 0120-5-81028 (無料)
 【携帯電話・PHSから】 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)
 ■ファックス 0120-5-81029 (無料)
 ■インターネットホームページ <https://jp.pioneer.jp/support/purpose/repair/>
 ※インターネットによる修理のお申込みを受け付けております。

商品についてのご相談窓口

●商品のご購入や取扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター
 <受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)
 ■電話【カーオーディオカーナビゲーション商品】 0120-044-111 (無料)
 【携帯電話・PHSから】 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)
 上記の電話番号がご利用いただける場合 050-3820-7540 (IP電話・有料)
 ■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)
 ■インターネットホームページ <https://jp.pioneer.jp/support/>
 ※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

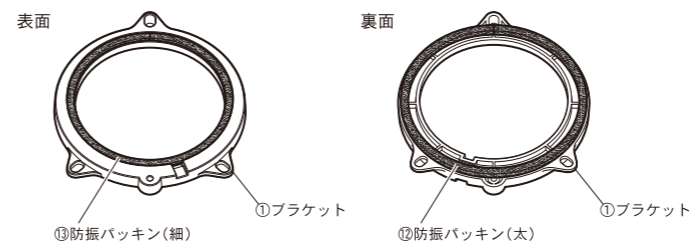
<各窓口へお問い合わせ時のご注意> 「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご利用できません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただいておりますので、発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

お客様登録のお願い
商品をご購入いただいたお客様は、お客様登録・商品登録をお願いしております。パソコンやスマートフォンからインターネットにアクセスいただき、ハイオニアホームページ「オーナーズリンク」にてご登録手続きをお願いいたします。
<<https://car-users.pioneer.jp/>>

ウーファー部 (取付手順)

●取付前の準備

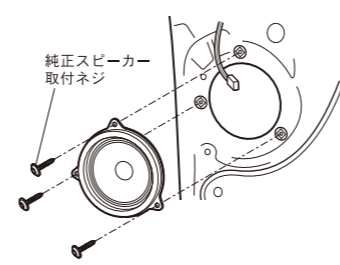
スピーカーブラケットの両面に防振バックンを貼付けます。



●ウーファー取付手順

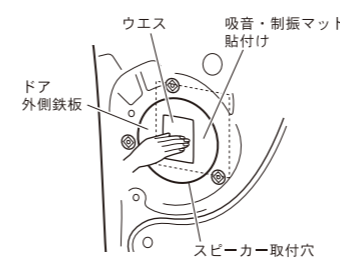
1. 内張りの取外し
●車種別内張り取外し手順を参照してください。

2. 純正スピーカーの取外し



●純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。※純正取付ネジはブラケットを取付ける際に使用しますので、なくさないようにしてください。

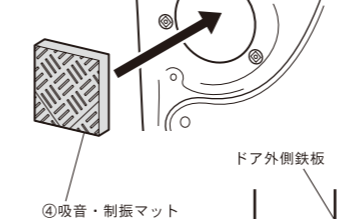
3. 吸音・制振マットを貼付けます。



- ・ドア外側鉄板の吸音・制振マット貼付け面(スピーカー背面部)の油分、汚れをウエスなどで拭いてしっかり落とします。
- ・市販のパーツクリーナーを使用するときれいに汚れが落とせます。
- ・油分や汚れが残っていると、貼付け後はがれる恐れがあります。

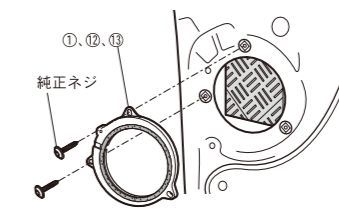
ドア外側鉄板に吸音・制振マットを貼付けます。

●低温下では粘着材の粘着力が低下し剥がれの原因になりますので、ドライヤーなどで暖めてから貼付けてください。



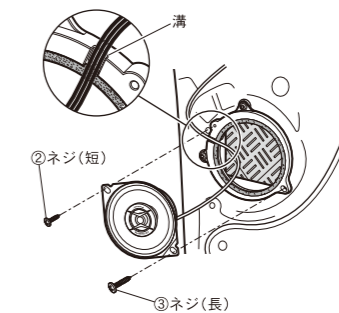
- ・吸音・制振マットの貼付け時は十分に圧着してください。
- ※吸音・制振マットの貼付け方法は車種により異なります。車種別貼付け方法の詳細は裏面を参照してください。
- ※吸音・制振マットは平滑面に貼付けてください。貼付け面に凹凸があるときちんと貼付けできず剥がれの原因になります。
- ※車両の可動部やウィンドウに干渉しないように貼付けてください。

4. ブラケットを車両に取付けます。



●純正ネジ2本を使用しブラケットを車両に仮固定します。

5. スピーカーを取付けます。



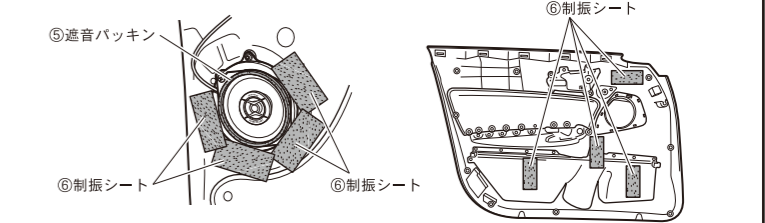
- ・付属の変換コードを使用し車両コネクターとスピーカーを接続します。※詳細は「接続方法」を参照してください。
- ・ブラケットの溝にコードを沿わせ、付属のネジを使用しスピーカーを取付けます。※スピーカーを取付ける際に、ブラケットと共に取付けを行います。※ネジを2種類使用します。よくご確認ください。

6. 制振シート / 遮音バックンを貼付けます。

- ・車体側、内張裏側に制振シート⑥を貼付けます。※制振シートの貼付け位置は車種により異なります。車種別貼付け位置の詳細は裏面を参照してください。
- ※制振シートの貼付けは貼付け面の汚れを落としてから行ってください。貼付けは圧着用ヘラなどを使い貼付けてください。
- ※制振シートは一度貼付るとはがれませんので、貼付け位置合わせは慎重に行ってください。内張り取付用のネジ穴やリテーナー穴を塞がないようご注意ください。

●スピーカー前面に遮音バックン⑤を貼付けます。

■貼付け例



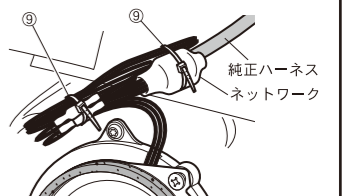
7. 内張りを元通りに取付けます。

取付方法は、取外しと逆の手順で行います。

8. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

ネットワーク部

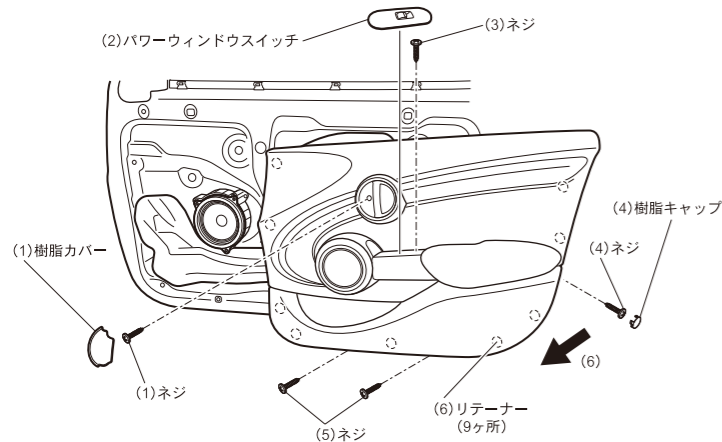
●ネットワークの固定方法および配線処理方法
ネットワークやコードの余長はロックタイ⑨で車両の純正ハーネスなどに固定してください。その際、ドアガラスなど、車の可動部分に接触しない場所に設置してください。ネットワークは防水仕様になっておりませんので水のかからない場所に設置してください。



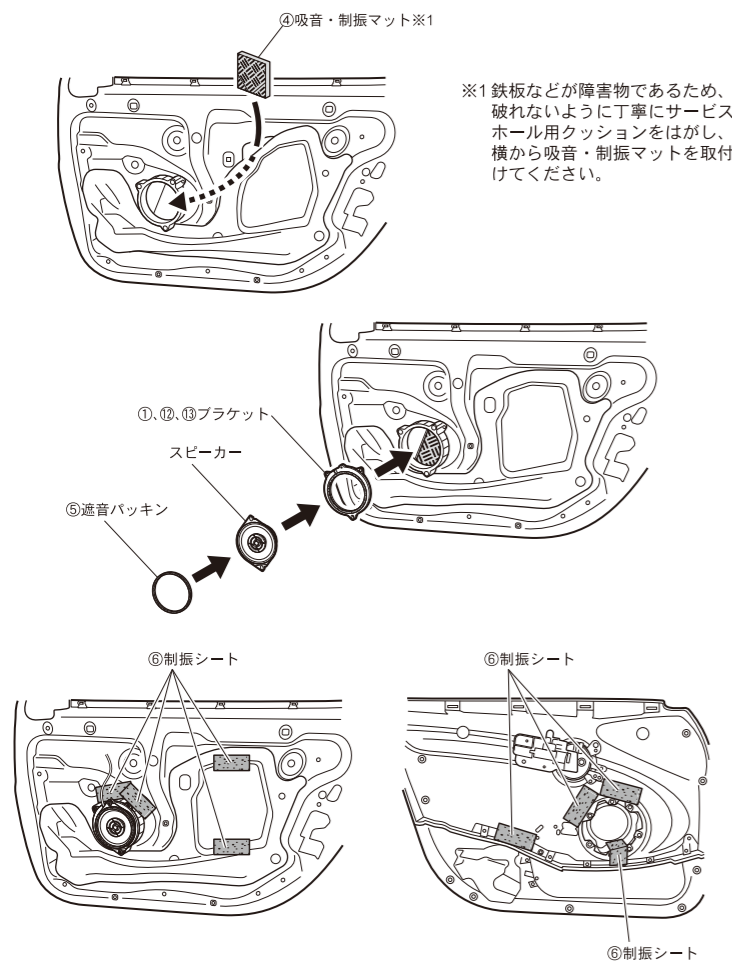
■内張り取外し手順、制振シート貼付け位置（図は運転席側の場合です。助手席側は対称になります。）※最新の適合車種、車種別取付手順に関する詳細情報については、当社ホームページ（PC/スマートフォン用）にてご確認ください。

BMW MINI F55

- (1) インナーハンドル部の樹脂カバーをこじって外し、中にある取付ネジ1本を外します。
- (2) パワーウィンドウスイッチをこじって外し、配線コネクタを外します。
- (3) パワーウィンドウスイッチを外したところにある取付ネジ1本を外します。
- (4) 樹脂キャップをこじって外し、中にある取付ネジ1本を外します。
- (5) トリム下部にある取付ネジ2本を外します。
- (6) 内張りを外します。
 - ・内張り裏側のリテーナーはめ込み部9ヶ所をこじって外し、内張りを手前水平方向に外します。
 - ・配線コネクタ類を外します。



■吸音・制振マルチファンクションマット/制振シート/遮音パッキン貼付け位置
・イラストの指定の位置へ各部材を貼付けてください。

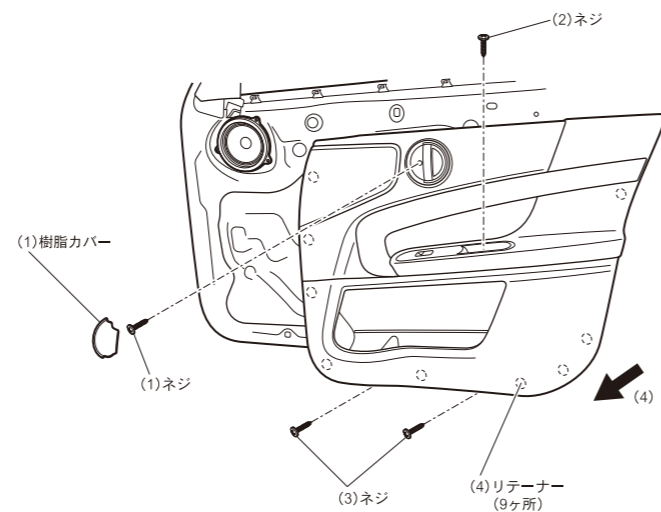


※1 鉄板などが障害物であるため、破れないように丁寧にサービスホール用クッションをはがし、横から吸音・制振マットを取付けてください。

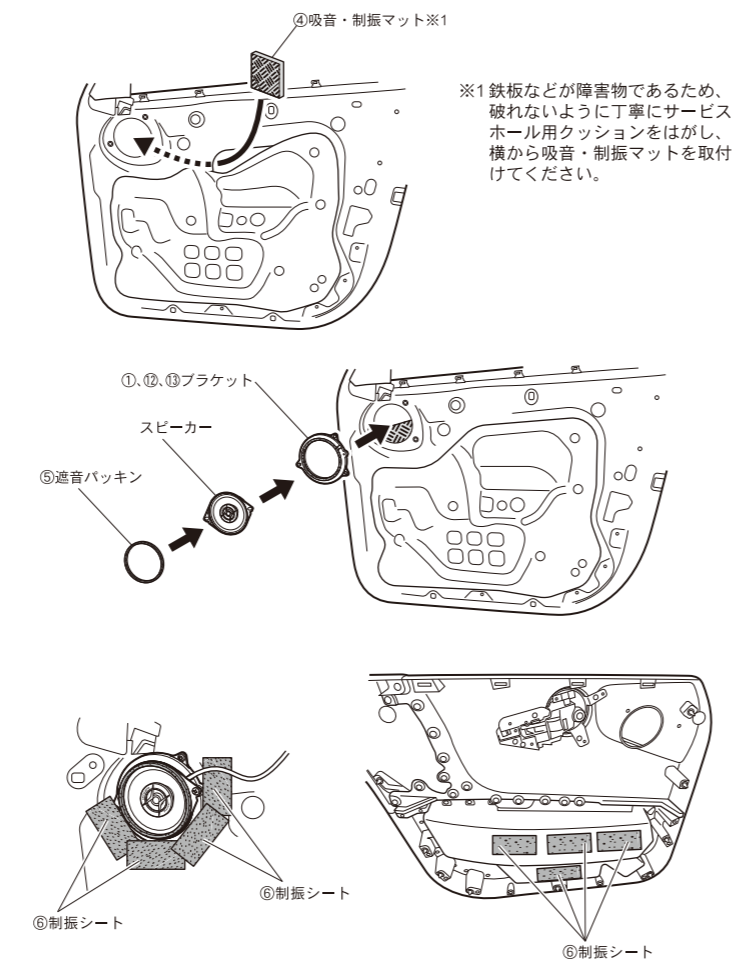
※制振シートは一度貼付けると貼直しできませんので、貼付け位置合わせは慎重に行ってください。
また、凹凸のある面に貼る場合は、可能な限り凹凸形状に沿わせて貼付けてください。内張りへの貼付けの際は、圧着用ヘラなどを使用して十分に圧着してください。内張り取付用のネジ穴やリテーナーはめ込み用の穴を制振シートで塞がないようご注意ください。

BMW MINI F60

- (1) インナーハンドル部の樹脂カバーをこじって外し、中にある取付ネジ1本を外します。
- (2) 樹脂キャップをこじってめくり、中にある取付ネジ1本を外します。
- (3) トリム下部にある取付ネジ2本を外します。
- (4) 内張りを外します。
 - ・内張り裏側のリテーナーはめ込み部9ヶ所をこじって外し、内張りを手前水平方向に外します。
 - ・配線コネクタ類を外します。



■吸音・制振マルチファンクションマット/制振シート/遮音パッキン貼付け位置
・イラストの指定の位置へ各部材を貼付けてください。

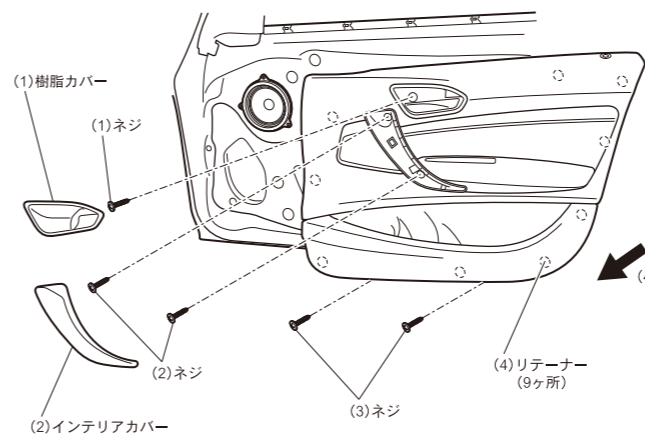


※1 鉄板などが障害物であるため、破れないように丁寧にサービスホール用クッションをはがし、横から吸音・制振マットを取付けてください。

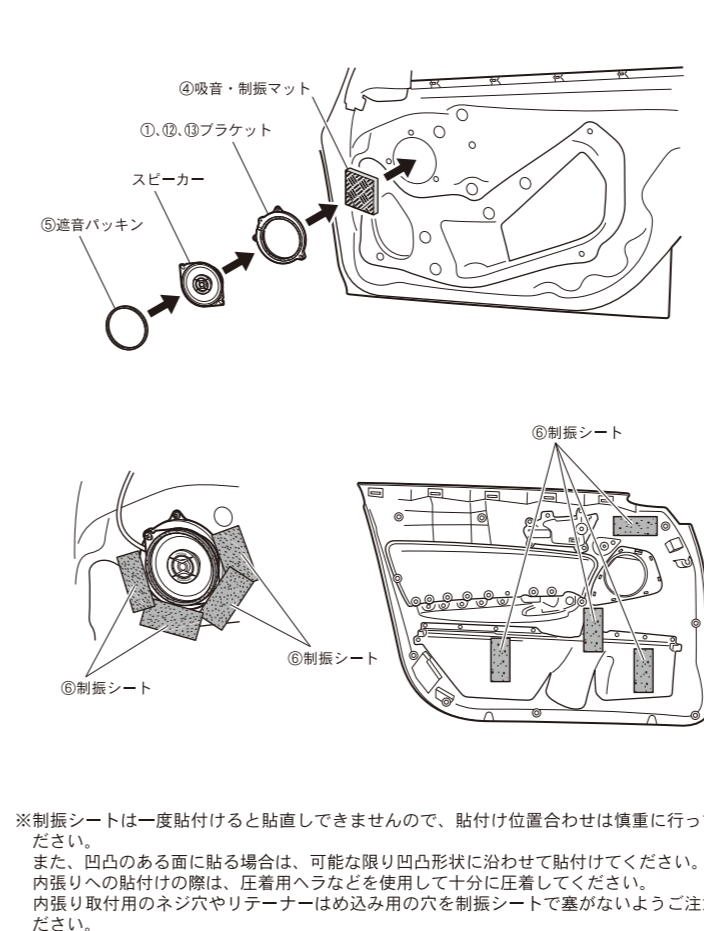
※制振シートは一度貼付けると貼直しできませんので、貼付け位置合わせは慎重に行ってください。
また、凹凸のある面に貼る場合は、可能な限り凹凸形状に沿わせて貼付けてください。内張りへの貼付けの際は、圧着用ヘラなどを使用して十分に圧着してください。内張り取付用のネジ穴やリテーナーはめ込み用の穴を制振シートで塞がないようご注意ください。

BMW 1シリーズ F20

- (1) インナーハンドル部の樹脂カバーを前部からこじって外し、中にある取付ネジ1本を外します。
- (2) インテリアカバーを下部切欠け部よりこじって外し、取付ネジを2本外します。
- (3) トリム下部にある取付ネジ2本を外します。
- (4) 内張りを外します。
 - ・内張り裏側のリテーナーはめ込み部9ヶ所をこじって外し、内張りを手前水平方向に外します。
 - ・配線コネクタ類を外します。



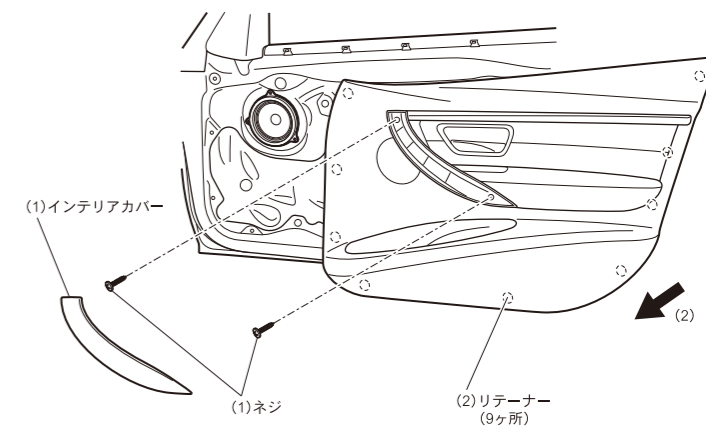
■吸音・制振マルチファンクションマット/制振シート/遮音パッキン貼付け位置
・イラストの指定の位置へ各部材を貼付けてください。



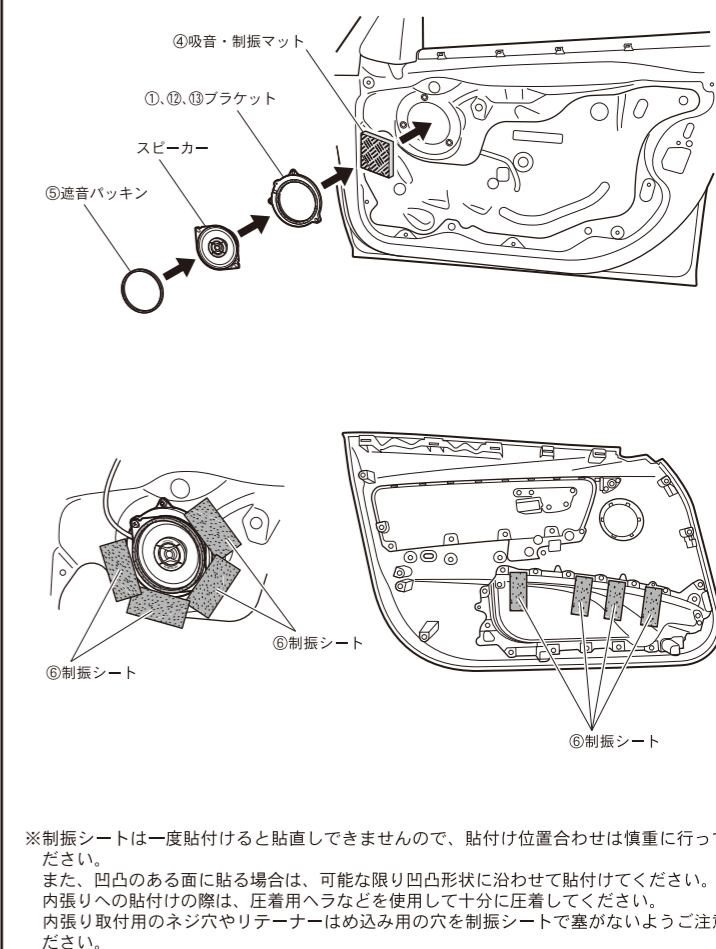
※制振シートは一度貼付けると貼直しできませんので、貼付け位置合わせは慎重に行ってください。
また、凹凸のある面に貼る場合は、可能な限り凹凸形状に沿わせて貼付けてください。内張りへの貼付けの際は、圧着用ヘラなどを使用して十分に圧着してください。内張り取付用のネジ穴やリテーナーはめ込み用の穴を制振シートで塞がないようご注意ください。

BMW 3シリーズ F30 / F31

- (1) インテリアカバーを下部切欠け部よりこじって外し、取付ネジを2本外します。
- (2) 内張りを外します。
 - ・内張り裏側のリテーナーはめ込み部9ヶ所をこじって外し、内張りを手前水平方向に外します。
 - ・配線コネクタ類を外します。



■吸音・制振マルチファンクションマット/制振シート/遮音パッキン貼付け位置
・イラストの指定の位置へ各部材を貼付けてください。



※制振シートは一度貼付けると貼直しできませんので、貼付け位置合わせは慎重に行ってください。
また、凹凸のある面に貼る場合は、可能な限り凹凸形状に沿わせて貼付けてください。内張りへの貼付けの際は、圧着用ヘラなどを使用して十分に圧着してください。内張り取付用のネジ穴やリテーナーはめ込み用の穴を制振シートで塞がないようご注意ください。

carrozzeria

© PIONEER CORPORATION 2019

パイオニア株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート 〈TRA2170-A/XI〉